

令和3年度 入学試験結果

Table with columns: 学部 (Faculty), 試験区分 (Exam Category), 募集人員 (Recruitment), 試験日 (Exam Date), 志願者数 (Applicants), 合格者数 (Admitted). Rows include 医学部 (Faculty of Medicine), 歯学部 (Faculty of Dentistry), 薬学部 (Faculty of Pharmacy), 保健医療学部 (Faculty of Health and Medical Sciences).

※昭和大学特待制度合格者…初年度の授業料免除(医・歯学部:300万円、薬学部:140万円、保健医療学部:105万円)



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 千142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

3月号の内容
1面
・コロナ禍での一般入試始まる
2面
・定年を迎える教授の特別寄稿
3面
・定年を迎える教授の特別寄稿
4面
・加藤祐樹さんがStudent Awardの最優秀賞を受賞
・薬学部に新規部門が開設
・就任のお知らせ
・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
・矢内原巧名名誉教授逝去

【問合せ先】
【本紙について:総務課出版・WEB係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について:企画課】
03-3784-8387
【学事について:学務課・大学院課・入学支援課】
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)

コロナ禍での一般入試始まる
全学部で国語を選択科目に採用

令和3年度一般選抜入学試験1期が、2月4日(歯学部・薬学部・保健医療学部)・5日(医学部1次)の両日、東京・大阪・福岡の3試験場で行われた。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため会場では受験生の体温チェックやアルコール消毒が徹底され、昨年より更なる厳戒態勢がとられた。昨年度からの変更点は全学部の入学試験選択科目に国語が採用されたことに加え、医学部では新潟県および静岡県の地域枠選抜入試も新たに始まった。また、新型コロナウイルスの蔓延により受験生の行動が制限されたのを考慮して、今年度は出願書類審査の点数化による評価を行わないこととした。

医学部

国語を入試科目に追加
数学との選択に
医学部の一般選抜入学試験1期は2月5日に一次試験を実施しました。志願者数は2761名でした。また、新潟県2名、静岡県5名の地域枠選抜入学試験の一次試験も併せて実施しました。なお、令和3年度の一般選抜入学試験1期・2期では「国語を新たに入試科目として追加し、「国語」または「数学」の2教科から

歯学部

時代を乗り切る
熱い希望を胸に
歯学部の一般選抜入試(1期)が2月4日に実施されました。今年度は、共通試験の最初の年であり、コロナ禍による緊急事態宣言下での試験となりましたが、44名の定員に対して352名の応募がありました。また、共通試験利用A方式では175名、B方式では15名、医学部併願入試では127名の志願者数となりました。



アルコールジェルで手指消毒

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月12日に富士吉田キャンパスでの入学式が予定されており、今年度から開始された新カリキュラムの下、初年次に医療面接、バイタルサイン、身体所見のとり方を学修します。至誠一貫を具現できる医療人を目指して充実した学生生活をスタートできるようお願いしています。(医学部長・小風 暁)

志望動機からは、コロナ禍における口腔の健康の重要性を述べてくれる受験生が数多く見られたとともに、本学のチーム医療の伝統が昨年度以上に広く知られていることを実感致しました。昭和大学全ての教職員の皆様に感謝申し上げます。

薬学部

令和の入試改革 始動
選抜1期入試を2月4日に実施し、435人の出願者から特待生合格者96人、追加合格者126人を発表しました。3年目を迎えた医学部一般選抜(1期)利用の薬学部併願入試には174人が出願し、このうち90人が二次試験に進み、合格者5人・追加合格者34人を選抜しました。大学入学共通テスト利用入試のA方式には214人が出願し、合格者10人・追加合格者59人でした。一方、地域別選抜のB方式には33人が出願し、5ブロックで計7人が合格しました。コロナ禍でもすべての入試で感染予防に十分配慮しながら面接試験を実施しました。



昭和大学 薬学部 保健医療学部 入学試験会場

に、今年度合格された新入生の諸君が、人々に寄り添い、共に苦しい時代を乗り越える医療人を目指す覚悟と熱い思いを胸に学ばれることを祈念いたします。(歯学部長・横 宏太郎)



サーモグラフィによる体温チェック

検査を行った後に入寮し、富士吉田でキャンパスライフをスタートします。授業はオンライン等も有効に活用しながらの実施となりますが、この時代だからこそ寮生活は学生たちにとって貴重な経験となるはずですよ。コロナの時代だからこそ輝きが増すFace to Faceの関係、新たな出会いに満ち溢れる富士吉田の春が今から楽しみです。(薬学部長・中村 明弘)

も志願者が増加し、入試広報の在り方を再検討したところが反映した結果と捉えており、教育・事務職員の努力に感謝します。学力試験と面接試験の結果、看護学科40名、理学療法学科13名、作業療法学科8名の合格者(特待生)が発表されました。また、大学入試共通テスト利用入試(A方式)は、看護学科10名、理学療法学科3名、作業療法学科3名の合格者が、また、B方式(地域別選抜)は、6ブロックから看護学科4名、理学療法学科1名の合格者が発表されました。コロナ禍の中、医療人に対する期待と感謝の気持ち幅広く伝えられている一方、医療人になることへの不安を抱えた受験生も多かったと思います。入学生諸君が、この時代に昭和大学保健医療学部で学んだことを誇りに思う昭和人になって果立っていくことを期待します。(保健医療学部長・下司 映一)

保健医療学部

3学科いずれも 志願者が増加
保健医療学部の選抜1期入試は、2月4日に五反田TOCを会場として行われました。今年度から3学科すべてで、数学または国語から1科目を選択する制度が導入されました。志願者は、看護学科319名、理学療法学科101名、作業療法学科33名でした。3学科いずれも



(保健医療学部長・下司 映一)

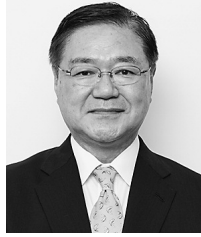
医学堂書店
品川区 旗の台
電話(03) 3783-9774



# 定年を迎える教授の

## 特別寄稿

### 昭和大学の45年間の教育



小川良雄

医学部 泌尿器科学講座  
(昭和大学病院)

1975年4月昭和大学医学部に入学、1981年3月に卒業しました。4月に新築の銀色に輝く大学病院入院棟に新人医師として入った日を今でも忘れません。恩師、今村一男教授、吉田英機教授のもとで泌尿器科医として研鑽を積ませていただきました。大学院修了後、東大医科で人工透析、腎移植医療を学びま

### 定年退職を迎えて



村上雅彦

医学部 外科学講座  
消化器一般科学部門  
(昭和大学病院 副院長)

1975年昭和大学医学部に入学し、外科医として40年のあわせて46年間を昭和大学人として過ごしました。Challenge・Reform・Innovationを大切に、モチ

ばしつつ、講座全体で人事配置を行うOne-Showaの泌尿器科学講座とすることができました。教育面では2008年から医学教育者のワークショップ検討委員会委員長を仰せつかり、他学部の多くの教育職員と交流を深めました。その後、M5試験委員長、教育委員長、医学部長の大役を仰せつかり学生教育に全力で注力しました。様々なことがありました。最も嬉しかったのは第112回医師国家試験で新卒100%合格を達成できたことです。教育についても小口理事長、片桐名誉学長、小出前学長、久光学長からご指導を賜り、教育推進室の皆様、教育委員会メンバー、学事部の職員の方々のご支援をいただいた賜物と深く感謝しております。4月からは、学校法人、医学部附属看護専門学校、リカレントカレッジでお世話になります。45年間にわたり私を教育してくれた昭和大学に心より御礼申し上げます。

その後、竹田稔教授の生化学教室で基礎研究の手ほどきをうけ、1997年に米国D.U.K.E.大学に留学いたしました。2007年から教授として泌尿器科学講座を14年間主宰させていただきました。現在では藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院の各特長を伸

べーションの燃料として、反骨精神・固定概念の打破・教育を糧として努力してきました。入局後は、肝臓外科医を目指しましたが、14年目に内視鏡外科と出会い、高難度と言われる胸腔鏡下食道癌手術に魅了され食道外科医に方向転換しました。1996年に1例目を施行(外科医として本邦6人目)、昭和大学式胸腔鏡下食道癌根治術を完成し、第108回日本外科学会では「先端を駆ける外科医達」の一人として特別講演を行えた事は感無量でした。2009年、昭和大学外科学講座消化器・一般外科部門教授、診療科

### 退任にあたって



末木博彦

医学部 皮膚科学講座  
(昭和大学病院)

本年3月31日をもって皮膚科学講座教授を退任させていただきます。1980年(昭和55年)に昭和大学医学部を卒業以来41年間、学生時代も含めると47年間にわたり昭和大学にお世話になりました。ご指導、ご支援を賜りました各位に衷心より御礼申し上げます。私は入学前から医師というより学究の徒を目指しておりました。学問としての医学は非常に興味深く楽しい学生時代を送らせていただきました。卒業当時の臨床教授の中で特に学問一筋に没頭する学者の風格をお

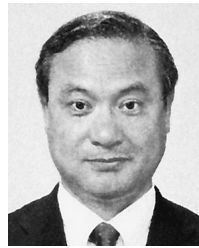
持ちの橋本謙教授に憧れ皮膚科に入局しました。昭和大学では3人の教授に、Dr. Masayuki Nagai. 皮膚科では2人の教授から指導を受け、幅広い領域、考え方を身につける事ができました。その反面、各教授の専門分野得意分野が様々で私自身のライフワークとしての専門分野を極めるには至りませんでした。前任の飯島正文教授から引き継いだ重症薬疹研究の中からH1V感染者以外にも見られる免疫再構築症候群の病態が明らかになり、2020年度から3年間日本医療研究開発機構から本症のバイオマーカー開発に研究費をいただけました。退任後2年間はこの課題を完遂すべく余力を傾注いたします。私の臨床医としてのキャリアは駆け出しの頃の大学病院N9病棟・東病院・藤が丘病院・東病院・N9病棟と片道ではなく往復することができ、これほど幸せな勤務医人生はなかったのではと感謝に堪えません。

外科・3D画像アプローチ、SLS/Robotic Surgery、(4)鏡視下トレーニング、(5)臓器再生医療をきっかけ、教室目標を「鏡視下手術における世界的リーダー」、教室員目標を、日本内視鏡外科学会技術認定医取得、内視鏡外科スペシャリストとしました。教室員一同同じ方向性をもった船出の団結力の誇示として、黒色スクラブを制服とし、院内で黒スクラブを見れば消化器外科医と一目でわかり、自覚を促すものであります。教室員が一つに結束すること大事である反面、一つの筆箱に黒一色の鉛筆が揃うのではない、全員が違

う色をもった色鉛筆になることで教室が発展することが目標でした。どこまで達成できたか疑問ですが、少なくとも昭和大学消化器・一般外科の存在を国内・外に知らしめることに貢献できたと考えます。就任以来29名の教室員が入局したことも幸運であり、多領域での臨床・研究実施の基盤となり、教室員一同に感謝申し上げます。今後は、2020年12月に新設された「食道がんセンター」で、センター長として死ぬまで手術をし、という小出総括病院担当理事の命題のもと次のステップに進みたいと思います。

昭和大学はこの40年間に大学として目覚ましい発展を遂げました。病院の新設や診療の充実には留まらず、医学教育のパラダイムシフト、国際化、統括研究推進センター(SURAC)の整備など目を見張ります。私も20年位遅れて昭和大学に入りたかったと羨むほどです。昭和大学の今後の益々のご繁栄を祈念申し上げます。

Leading Edge



寺田友昭

医学部 脳神経外科学講座  
(藤が丘病院)

早いもので、水谷徹教授(医学部脳神経外科学講座)からお誘いいただき、和歌山労災病院から藤が丘病院に赴任して、あつという間に6年半が過ぎました。私は脳神経外科の中でも血管内治療・カテーテル治療が専門で、この領域の治療が国内で40年近く前に始まった当初からこの治療に取り組んで参りました。始まった当初は、治療に伴う合併症の山で、こんな治療が世に出ることがあるのだろうかと思いつつも、良き師匠(菊池晴彦先生、駒井則彦先生、故Grant Hestlin, MD先生など)、良き友人(三島先生など)、良き同僚、先輩に恵まれこま

治療機器がどんどん開発されております。藤が丘病院は脳神経血管内治療の分野では国内のトップセンターの一つであり、常に新しいデバイス、新しい治療に携わることが出来ます。本年4月から横浜市北部病院の所属になりますが、北部、藤が丘の連携をさらに強め、神奈川の脳神経血管内治療のメッカとしてさらに精進してゆきたいと思っております。定年を迎えるにあたり、メスは置いて、手術はカテーテル一本に絞る、もう少しこの分野のleading edgeを歩いてゆきたいと思っております。とりあえずは、脳動脈瘤奇形の経静脈的塞栓術の開発と普及、脳腫瘍に対する治療的塞栓術を研究テーマとして昭和から世界に発信できる仕事を継続してゆくつもりです。今後とも、御支援よろしくお願ひいたします。

### 定年退職にあたり 思うこと



成島道昭

医学部 医学教育学講座  
(横浜市北部病院)

1976年昭和大学に入学してから45年余りの時が過ぎました。1982年に大学を卒業し、藤が丘病院の内科レジデントとして医師生活をスタートした訳ですが、藤が丘病院に25年間、横浜市北部病院に2006年異動し14年間お世話になりました。それぞれの開院

から6・7年目という比較的若く、病院に勢いのある時期を良き仲間達と共に過ごせたことは本当に幸せなことであると感じている次第です。藤が丘病院時代は呼吸器の臨床に明け暮れ、多くの患者さん、地域の医師会の先生方とも関わりを持つことが出来ました。当時はお二人の教授の下で仕事をしてみましたが、任期途中でご病気をされ、それでも何とか診療科内の運営に支障が無いよう務めることができたのも、当時ともに机を並べ、同じ釜の飯を食ったメンバーがいてくれたからであり、この場を借りてお礼を述べさせていただきます。当時、講師として助教と進むにつれ、仕事内容は大学教育職員としてのもも加わり、特にOSCEや学部連携教育、臨床研修指導などに関わるこ

◆社会人向け  
◆学び直し・スキルアップ  
◆リカレント教育

## 昭和大学 リカレントカレッジ

春期プログラム受講生募集

あなたの人生に役立つ新しい知識の色を増やしませんか？

■資料請求・お問い合わせ■  
昭和大学リカレントカレッジ事務局  
東京都品川区旗の台1-5-8  
03-3784-8143

プログラムの詳細は  
WEBサイトへ

昭和大学リカレントカレッジ

も増えました。夜遅くまで旗の台で会議をし、病院へ戻って病棟へ行くこと、まだ仕事をしている後輩達がい



# 定年を迎える教授の

## 特別寄稿

### 退職に際して



鈴木 尚志

医学部 麻酔科学講座  
(江東豊洲病院)

私は1981年に本学を卒業し、後に学長を勤められた細山田明義先生が主宰されていた麻酔科学教室に入局しました。当時、先生は麻酔科の2代目教授に就任したばかりの少壮気鋭の教授でした。当時の様子といえば、用手的な人工呼吸と血圧測定は当たり前、心電図モニターすら手術部の全室には配置がなく、手術で

急性期病院においては手術の質と量が病院経営を左右するので、手術件数の増加要求は高まるばかりです。学内の麻酔科医の絶対数は増えましたが、需給関係は入局当時よりも悪化しています。マンパワーの確保は喫緊かつ継続的な課題です。当節の能動的な医師は、知識・技術・経験・研究機会・資格を、また、より良い労働環境や経済的代価を得るために、その時々で相応しい施設を探してキャリアを重ねています。終身雇用や年功序列という言葉から想起されるような一自分の過ごしてきた一医局は現代にそぐわないようです。

「生涯現役」の想いと「老害」の憂いは交錯しますが、暫時、特任教授として勤務する予定です。かくして当直医の最年長記録も更新しそうです。これまで大過なく勤務を続けられたのは周囲の方々の支えのおかげです。紙面を借りて御礼申し上げます。

「生涯現役」の想いと「老害」の憂いは交錯しますが、暫時、特任教授として勤務する予定です。かくして当直医の最年長記録も更新しそうです。これまで大過なく勤務を続けられたのは周囲の方々の支えのおかげです。紙面を借りて御礼申し上げます。

線医学教室に入局しました。一時、太田熱海病院、埼玉医科大学放射線科に在籍し、実務、研究、教育を行ってきました。当初は核医学の研究に従事し、鉄が肝機能に与える影響を画像解析する研究が博士論文となりました。放射線科専門医を取得後、MRIを利用した画像診断を中心とした実務、研究、教育に従事しています。当時、MRI検査では、経口造影剤が無い、腸管や周囲臓器の診断に苦慮することが多く、消化管造影剤を研究対象としました。緑茶が、MRI経口造影剤として利用可能であることがわかりましたが、学会発表後、新聞、TVニュースで取り上げられ、緑茶のMRI造影検査希望が九州からも寄せられ、マスコミの影響に驚かされました。



長谷川 真

医学部 放射線医学講座  
放射線科学部門  
(江東豊洲病院)

本年度で退職を迎えることとなりました。富士吉田入寮から40年以上も昭和大学のお世話になり、感無量です。卒業後、私は直ちに放射

線医学教室に入局しました。一時、太田熱海病院、埼玉医科大学放射線科に在籍し、実務、研究、教育を行ってきました。当初は核医学の研究に従事し、鉄が肝機能に与える影響を画像解析する研究が博士論文となりました。放射線科専門医を取得後、MRIを利用した画像診断を中心とした実務、研究、教育に従事しています。当時、MRI検査では、経口造影剤が無い、腸管や周囲臓器の診断に苦慮することが多く、消化管造影剤を研究対象としました。緑茶が、MRI経口造影剤として利用可能であることがわかりましたが、学会発表後、新聞、TVニュースで取り上げられ、緑茶のMRI造影検査希望が九州からも寄せられ、マスコミの影響に驚かされました。

### 定年退職に際して



中村 雅典

歯学部 口腔解剖学講座

2001年に滝口励司、若月英三両教授の後任として杜の都仙台から花の都東京の昭和大学に赴任し、あつという間に退職となりました。当時からすでに始まった大学教育改革の渦の中、後藤歯学部部長のもとで学生主体型学習の実践の方略として問題解決型学習(PBL)を国内の歯学部としていち早く導入し、宮崎歯学部部長になって、昭和大学においても4学部連携教育の方略として採用されて今日に至っています。PBL導入にあたってはアデレード大学、南カリフォルニア大学や香港大学を実

### 定年退職に際して

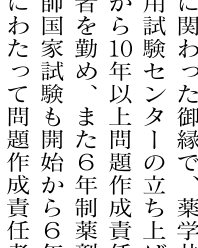


伊藤 喬

薬学部 基礎薬学講座  
薬化学部門

1983年に東京大学大学院を修了し、井下田浩教授当時薬学部部長が主宰されていた薬化学教室に奉職して以来、38年間本学にお世話になりました。当時は含窒素複素環化合物研究がテーマでした。その後、活性酸素や窒素酸化物の有機反応、有機触媒反応の開発、生理活性天然物の全合成等に研究を展開し、多くの学生に研究の面白さを体験してもらいました。その結果、病院・薬局薬剤師から企業研究者、大学教育職員に至るまで多くの優秀な卒業生を送り出すことができたと思っております。

### 定年退職に際して



宮川 哲夫

保健医療学部 理学療法学科

1994年より27年間にわたり勤めさせていただきありがとうございました。これまでご指導いただきました先生は、多くの方々と一緒に仕事をし、先生方の熱意と情熱が、私に大きな影響を与えてくれました。先生方から学んだことは、一生の宝です。先生方のご指導のおかげで、私は理学療法士として、そして、大学職員として、大規模な共同作業を通して、私自身、教育職員として大

ashuman. for human  
**PARAMOUNT BED**

最先端の技術で医療の明日に貢献します。

パラマウントベッド <http://www.paramount.co.jp> フリーダイヤル 0120-03-3648

### 定年退職に際して



宮川 哲夫

保健医療学部 理学療法学科

床実習を行い、米国呼吸療法士の資格を取得いたしました。帰国後は聖マリアンナ医科大学付属病院リハビリテーション部に勤務し臨床工学技士の資格を取得し、初代昭和大学リハビリテーション医学診療科教授の(故)森義明先生のお誘いを受け、1994年から昭和大学医療短期大学開設準備室に参りました。1997年に医療短期大学が開設され、2002年保健医療学部に変更され、2007年には大学院修士課程、2012年には大学院博士課程が開設されました。その間、入試常任委員、学生部長、教育委員長、学科主任と保健医療学部と共に歩んで参りました。理学療法学科の卒業生も21期生まで695名が巣立

就任のお知らせ(2月9日 理事会承認)



医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 教授
昭和大学病院消化器・一般外科診療科長
(勤務地: 昭和大学病院消化器・一般外科)

青木 武士

現: 医学部外科学講座(消化器一般外科学部門)担当 准教授
(勤務地: 昭和大学病院消化器・一般外科)

任命日: 令和3年4月1日



医学部整形外科学講座担当 教授
(勤務地: 昭和大学藤が丘病院外科系診療センター整形外科)

神崎 浩二

現: 医学部整形外科学講座担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学藤が丘病院外科系診療センター(整形外科))

任命日: 令和3年4月1日



医学部内科学講座(臨床感染症学部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学病院感染症内科)

時松 一成

前: 医学部内科学講座(臨床感染症学部門) 准教授
(勤務地: 昭和大学病院感染症内科)

任命日: 令和3年2月9日



保健医療学部長(再任)

下司 映一

現: 保健医療学部長

任期: 令和3年4月1日~令和4年3月31日



助産学専攻科長(再任)

下平 和久

現: 助産学専攻科長

任期: 令和3年4月1日~令和6年3月31日



富士吉田教育部(担当: 英語) 教授

高橋 留美

前: 富士吉田教育部(担当: 英語) 教授(員外)

任命日: 令和3年2月9日



昭和大学口腔ケアセンター長(再任)

弘中 祥司

現: 昭和大学口腔ケアセンター長

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日



国際交流センター長(再任)

宮崎 隆

現: 国際交流センター長

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日



キャリア支援室長

中西 孝子

現: キャリア支援室 准教授

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日



昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター長

(勤務地: 昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター(皮膚科))

永田 茂樹

現: 医学部皮膚科学講座担当 教授
(勤務地: 昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター(皮膚科))

任命日: 令和3年4月1日



医学部内科学講座(循環器内科学部門)担当 教授
(勤務地: 昭和大学江東豊洲病院循環器センター(循環器内科))

丹野 郁

現: 医学部内科学講座(循環器内科学部門)担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学江東豊洲病院循環器センター(循環器内科))

任命日: 令和3年4月1日



医学部臨床病理診断学講座担当 教授
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院内科系診療センター臨床病理診断科)

根本 哲生

前: 医学部臨床病理診断学講座担当 教授(員外)
(勤務地: 昭和大学横浜市北部病院内科系診療センター(臨床病理診断科))

任命日: 令和3年2月9日



歯学部口腔解剖学講座担当 教授

野中 直子

現: 歯学部口腔解剖学講座担当 准教授

任命日: 令和3年4月1日



保健医療学研究科長(再任)

三村 洋美

現: 保健医療学研究科長

任期: 令和3年4月1日~令和4年3月31日



保健医療学部学生部長

加賀谷 善教

現: 保健医療学部理学療法学科 教授(員外)

任期: 令和3年4月1日~令和4年3月31日



昭和大学スポーツ運動科学研究所長(再任)

三邊 武幸

現: 昭和大学スポーツ運動科学研究所長

任期: 令和3年4月1日~令和6年3月31日



昭和大学口唇口蓋裂センター長(再任)

大久保 文雄

現: 昭和大学口唇口蓋裂センター長

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日



昭和大学統括研究推進センター長

三邊 武彦

現: 昭和大学統括研究推進センター副センター長 創造研究支援部門担当

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日



医学部附属看護専門学校長(再任)

小川 良雄

現: 医学部附属看護専門学校長

任期: 令和3年4月1日~令和6年3月31日



昭和大学統括保険診療管理室長(再任)

澁澤 三喜

現: 昭和大学統括保険診療管理室長

任期: 令和3年4月1日~令和5年3月31日

加藤祐樹さん(医学部5年)が

Student Award最優秀賞を受賞

日本循環器学会関東甲信越地方会

加藤祐樹さん(医学部5年)が、第258回日本循環器学会関東甲信越地方会(12月12日から14日まで、WEB開催)でStudent Awardの最優秀賞を受賞した。
同学会はわが国最大の循環器領域の学会で地方会のAward sessionはFinalistに選ばれた演者の中から最優秀賞1名と優秀賞2名が表彰される。
加藤さんは日々の臨床実習の合間に法医学講座と臨床病理診断学講座で病理形態学的研究を進め、ヒト房室弁輪の心房-心室筋の近接性と副伝導路形成の可能性に関する検討の演題名で発表し、その研究成果が高く評価され同賞に選定された。



加藤祐樹さんのコメント
このたび、日本循環器学会関東甲信越地方会にてStudent Award最優秀賞をいただき、大変光栄に感じております。本研究では副伝導路形成の可能性について、病理組織学的な検討を行い

用し研究を続けてきました。時には夜遅くまで指導くださりました法医学講座松山高明教授をはじめ、研究にご助言いただき、支えてくださった先生方に深く感謝申し上げます。今後も循環器病学・病理学的な研究を

ました。3年次冬季より研究室に通わせていただき、実習の合間や長期休暇を利

薬学部にて新規部門が開設

臨床栄養代謝学部門

4月1日より本学薬学部の臨床栄養学講座に臨床栄養代謝学部門を新たに開設することが、1月12日開催の理事会で承認された。
同部門は薬学部における臨床栄養学領域の教育研究を充実・発展させることを目的としており、静脈経腸経

口栄養を中心とする栄養療法の及びそれらを支える基礎的栄養学に関する教育・研究・臨床に薬学的観点から取り組んでいく。
同部門の教授選出は今後の選考委員会にて審議が進められる。

続けていき、他大学、他施設の先生方にまで広く知られるような医療人になっていきたい所存であります。関係者の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

- 学校法人昭和大学奨学基金への寄付
【同窓】江田 邦夫 様(医学部・43回生)
教育研究協力資金への寄付
【職員】安藤 浩一様 【一般】三森 晋一様/鈴木 俊光様
昭和大学病院への寄付
【一般】若木 恵喜子 様/東京都騎手会 様
昭和大学藤が丘病院への寄付
【一般】西村 楓 様(高橋律様ご遺族)
昭和大学横浜市北部病院への寄付
【一般】株式会社シノテスト 様
各クラブ・学生会への寄付
【同窓】三邊 武彦 様(医学部・76回生)/上條 翔太郎 様(医学部・81回生)
校舎建設・運営維持への寄付
【同窓】中西 孝子 様(薬学部・14回生)
新型コロナウイルス禍学生支援への寄付
【同窓】
臨床病理診断学講座 塩沢 英輔 様(医学部・67回生)
臨床病理診断科 矢持 淑子 様(医学部・59回生)

矢内原巧名誉教授逝去

矢内原巧名誉教授(元医学部産婦人科学講座教授)は2月14日逝去された。享年86歳。葬儀は密葬にて執り行われた。
矢内原名誉教授は、1957年慶応義塾大学医学部卒業、1962年東京大学医学部産婦人科学教室入局、

1972年帝京大学医学部産婦人科学教室助教授、1975年昭和大学医学部産婦人科学助教授、1978年医学部産婦人科学教授、1994年昭和大学医学部附属看護専門学校校長、1995年昭和大学病院周産期センター長に就任された。2000年に定年、名誉教授となられた。

昭友商事株式会社
ふるさと納税 富士吉田の天然水
カタログ 景品手配
国内海外 出張手配
公的機関 請求手続き 航空券・宿泊ホテル手配
医師賠償 自動車保険
ネクタイ ポロシャツ 昭和大学 オリジナルグッズ 販売
各種PARTY 親睦会等 イベント運営補助 会場手配・招待状、出席、会費管理
03-3784-8280